

小田急沿線 自然ふれあい歩道

小田急沿線自然ふれあい歩道とは、
小田急沿線に点在する身近な自然や文化財などを紹介する
環境活動の一つです。コースは全70コース。
各コースの最寄り駅でチラシを配布しています。

小田原駅コース

小田原城と城下町の自然と歴史を訪ねるコースです。

コース内の主なみどころ



【① 小田原城址公園】

最初の築城は大森氏がこの地に進出した15世紀初頭といわれています。1495年に小田原北条氏の居城となってから次第に拡張され、秀吉の小田原攻め直前に最大規模に達しました。現在の天守閣は、1960年に復元されたものです。



【② 御感の藤】

南堀沿いに樹齢100年以上の古木のフジが植えられており、藤棚全体に1m余りの花房が下がる姿は目を引き壮観です。大正天皇を感銘させたことから「御感の藤」と呼ばれ、市の天然記念物になっています。



【③ 早川口遺構】

早川口遺構は、小田原城外郭の南に位置する虎口(出入口)です。数個の虎口や二重構造の土塁、堀などで防御する構造になっています。1978年に国の史跡に指定され、現在は史跡公園として整備されています。



【④ 西海子小路】

西海子小路は武家屋敷が集まっていた小路で、広い敷地の邸宅が並ぶ静かな佇まいが往時をしのばせます。西海子小路の西の突き当たりには、芥川龍之介の「トロッコ」の舞台となった軽便鉄道の起点がありました。



【⑤ 正恩寺】

1593年に尾張から当地に移転した正恩寺では、木造・入母屋造瓦ぶきの鐘楼門が小ぶりながら優雅な姿を見せています。周辺は砂地で農耕地には適さないため、寺が連なる独特の街並みが形成されたといわれています。



【⑥ イヌマキの大径木】

常盤木橋前には、小田原市最大のイヌマキの巨木があります。この木は幹周り4.5m、高さ20m、枝張り25mもあり、城内で最も樹齢が高く、小田原城の歴史を見つめ続けてきた生き証人といえます。

スマートフォンをお持ちなら…

小田急沿線自然ふれあい歩道アプリを無料配信中!

スマートフォンのGPS機能を使って、現在位置の確認も可能。
お散歩のお供に、便利なアプリをご活用ください。



列車運行状況および
各駅時刻表はコチラから

小田急電鉄

検索

www.odakyu.jp



小田急沿線 自然ふれあい歩道 コースマップ



ルート 合計約5.8km

メイン
ルート

小田原駅 1100m 御感の藤 460m 天神社 440m 居神社
530m 早川口遺構 1170m 御幸の浜 820m 大手門跡と鐘楼
600m 小田原城址公園 660m 小田原駅

- 凡例
- メインルート
 - サブルート
 - 道路
 - 鉄道
 - 高速道路
 - 川・池
 - 緑地
 - 畑
 - 公園・果樹園
 - 広場・運動場など
 - 水田
 - 建物
 - ① みどころ
 - Point... ワンポイント解説
 - ビューポイント
 - 信号機
 - カーブミラー
 - 神社
 - 寺
 - 看板・道標
 - あずまや



2010年10月1日現在 ※本マップに記載の情報は、道路状況などにより変更が生じている場合があります。

小田急電鉄株式会社 CSR・広報部 ☎03-3349-2517 www.odakyu.jp/walk/

残したいみどり
伝えたいあお